

令和8年度

試験名: 推薦入学試験

【社会・国際学群 国際総合学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文	<p>問1</p> <p>(1)戦後の国際的リベラル秩序のもとで拡大した人の移動、およびコロナ禍以降の潮流の変容をめぐる議論についての英文を題材に、英語の文章を誤りなく読み取り、的確に要点を捉えながら、偏りなく要約する能力、またそれを正確な日本語の文章にて表現する力をみる。</p> <p>(2)本文下線部の筆者の主張を理解し、そこに立脚したうえで、本文の内容を踏まえながら、自らの意見を述べる力をはかる。筆者の主張を正しく理解していること、本文の内容を踏まえていること、論理展開に矛盾が無いこと、説得力のある論拠が挙げられていること、一面的な見方にとどまっていないこと、表現が豊かで具体性があること、などが評価につながる。</p> <p>問2</p> <p>(1)「非暴力的な市民的抵抗」というテーマについて、その拡大の傾向・理由と背景にある課題を的確に読み取り、要点をまとめることを求める問題である。個別の論点を正確に理解していることに加え、それらの関係性、特に拡大の理由から課題にかけての論理の流れを正確に読み解き、表現できていることが高評価に繋がる。</p> <p>(2)意義と課題の双方を論じさせることで、ひとつの現象に対して多面的な思考を展開し、それを一貫した論理構成のもとでまとめ上げ、限られた語数の中で表現する力を問う問題である。筆者が既に提示しているポイントをおさえつつ、単なる本文の引き写しではなく、自分なりの考察へと発展させ、説得的な論拠を提示することが高評価に繋がる。</p>